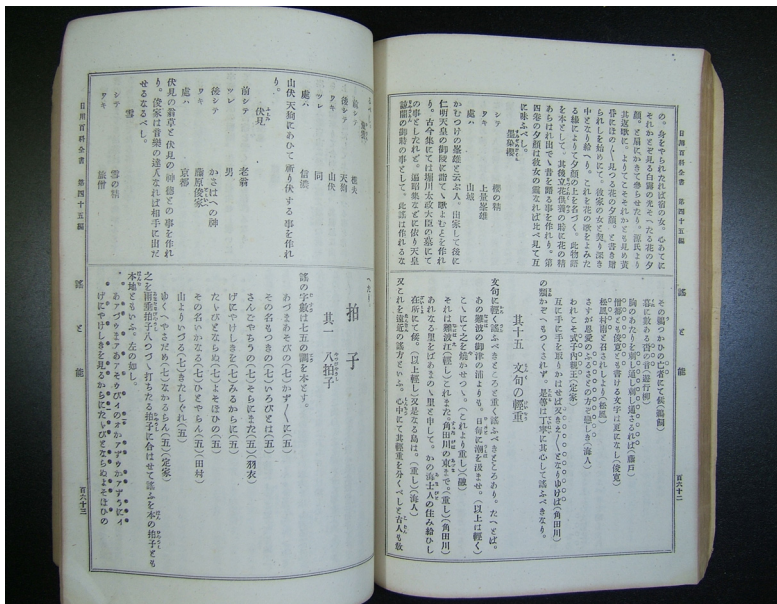


大和田建樹 『日用百科全書第四十五編 謡と能』

謡の全般についての概説書。拍子については、写真下にあげた頁と、その次の頁のわずかに二頁を割いているにすぎない。平ノリについて説明が簡単なおこなわれるが、文句の傍に黒丸をつけることによつて当たりが示されている。そして平ノリのあたりは、近古式で表現されている。これにつづいて、大鼓、小鼓等の楽器の説明があるが、歴史の説明が中心になっている。一般の概説書の中で、拍子がいめる量の少なさをしめす典型例。



標題 内題…百科全書第四十五編 謡と能

標題紙…

奥附…

その他…日用百科全書第四十五編 謡と能 (目次・巻末・柱・表紙)

著者 奥附…

その他の場所…大和田建樹(巻頭・背)

出版 版次…

出版地…

出版社…博文館(表紙)

出版年…

その他の場所…序 明治33(1900)

形態 冊数…一冊 頁数…二六六頁

寸法…23×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 奥附は破損。裏表紙に「図書出版、東京、博文館」のロゴあり。